

「夜の森散策!光る生き物たちに会いに行こう」

日時：令和元年6月14日（金）19：00～20：15

場所：龍郷町生涯学習センター「りゅうがく館」

講師：自然観察指導員 川畑 力さん、納 明朗 さん

参加者：児童84人、保護者61人、未就学児8名、計153人



シイノトモシビタケやホタルについてお話を聞きました。 フクロウの鳴きマネに挑戦!!上手く鳴らせたかな…?



実際にシイノトモシビタケを観察しました。



森には危険な生き物がいることも学びました。

第2回子ども博物学士講座は、天気が悪く残念ながら奄美自然観察の森での観察は行えませんが、りゅうがく館にて川畑 自然観察指導員のお話を聞きました。

奄美の森にいる様々な生き物の中でも今回は、夜の森にいる生き物・光る生き物のお話。

ホタルやシイノトモシビタケのお話は、みなさん真剣に聞いていました。

龍瀬小3年矢野りこさんは「シイノトモシビタケが昼間も光っている」ことに驚いたそうです。赤徳小5年谷口昭仁さんは「ホタルの幼虫は肉食」だということを初めて知ったそうです。

また、夜の森で「ホーッホーッ」と鳴いているフクロウの鳴きマネに全員で挑戦しました。フクロウは鳴きマネが聞こえると、返事をしてくれるそうです。難しいですがぜひ練習をしてみてください。

最後に、奄美自然観察の森から特別にシイノトモシビタケを持ってきてもらい、全員で観察をしました。真っ暗の中、きれいに光っていましたね。なかなか見るのでできないシイノトモシビタケにみなさん興味深々でした。

楽しい生き物観察ですが、森には危険な生き物や危険な場所があります。明るくても暗くても安全で楽しい観察をするために、自分の安全を一番に考えて観察することの大切さも学びました。

これから観察をする時には、今回学んだことを心がけましょう。